

システム名	上下水道技術資料管理システム(Webファイリング)	ユーザー	大手電気メーカー
旧システムの 問題点	全国に設置している上下水道に関する技術資料をマイクロフィルム化し管理されているが、必要な書類をいつでも素早く確実に閲覧することが難しい。フィルムに傷が入り劣化が著しい。全国の出先支店などにも複製された複数部数のマイクロフィルムを配布する必要がある。ミスファイリングが頻発している(フィルムが元に戻されない場合がある)。		
メリットなど	ネットワーク化によりデータの共有化が実現。画像データに暗号化処理をして、データの保護など安全性が向上。DVD 1枚の電子製本システムでの運用も可能となる(バックアップデータとなる)。ISS一括入力システムの確立。Web対応で操作が分かりやすい。将来に向け全国ネットワーク化が可能となる。数百万枚のデータを一元管理できるようになった。		

